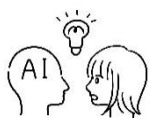




現場から（最近のニュースから）

できないこと



あつという間に生活の中に入り込んできている AI。さまざまな分野で導入・運用されていて、人間がしている仕事を AI がするようになったり、そのうち人間の知能を超える転換点も来ると言われています。たしかに便利な社会になっていますが、その一方で、さまざまな問題も生まれています。最近では、自分の仕事の悩みや愚痴を AI に話す人が増えて来ているそうです。また、高度な AI を使用したチャットボットは非常に自然な会話をリアルタイムで生成し、会話の内容を記憶していくため、AI チャットを友達や恋人代わりに使うユーザーが増えているそうです。AI チャットボットを運営する Joi AI が 10 代半ばから 20 代後半の若者 2000 人を対象として実施した調査の結果、83%が「チャットボットと有意義な関係を築くことができる」と回答したほか、80%が「法律で認められるならチャットボットとの結婚も検討する」と答えたということです。（5 月 29 日 Gigazin<「AI と結婚したい」と Z 世代の 8 割が回答>より）

このように発展し続けている AI ですが、いろいろな問題が生じ始めているのも事実です。AI に相談すると、決して否定せずに返答してくれて、仮に間違った意見だとしてもそれに共感して正当化してくれるため、不適切な信念を形成する可能性があり、自分の枠の中で視野が狭くなっていくことが多いということです。AI チャットボットとの会話に夢中になった 14 歳の少年が自殺してしまったというケースもあります。また、AI はときには、もっともらしいことを言っていることもあります。それは、AI はあくまで“言葉のつながり”を連想しているだけで、物事の本質を理解しているわけではないからだそうです。そして、医療などで活用しようとする場合、検査とその結果は話してくれるのですが、なぜその結果が出たかという根拠を示すことができないそうです。そのように、AI は入力（インプット）と出力（アウトプット）は分かるのに、その間はブラックボックスになっているということで、ブラックボックス問題として議論されているということです。「AI は答えを出してくれるけど、どうやってその答えにたどり着いたのかわからない」ので、医者の場合、AI の言うとおりに患者に説明することはできないと言われていています。（5 月 26 日 Note<AI は便利だが、語らない闇がある？——ブラックボックス問題に今すぐ備える。ツイ鳥>より）

このような問題点があることで、AI に否定的な人も多いですが、AI は確かに便利な道具なので、リスクを理解した上で、AI に頼り過ぎることなく、自分に最適な使い方を考えて行こうと言われていきます。しかし、そのように考えて使っていくことはできるのでしょうか。人間には、自分で絶対にコントロールできないことがあります。どんなに自分でがんばっても不可能なことがあるのです。しかし、多くの人は、その事実を認めず、なんとかがんばったり、改善していけばうまくいくようになると思っています。できると思っているので、できないときに落ち込むのです。努力してできた人がいると、みんなができると思うのですが、実はすべての人に「絶対にできないこと」があるのです。AI が発展しても、できないことはできないまま残っています。それゆえ、どうしても、いつまでも問題が生まれ続けるのです。その「できないこと」とは何でしょうか。また、その解決は何でしょうか。それについてお伝えしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」